

# お茶の間交信



## 「Happy 親子読書」

長井市立図書館 高橋 智子

皆さんもご存知の通り、長井市では、3か月児健診の時にブックスタート事業を行っています。赤ちゃんをだっこして、絵本を介しての触れ合いを体験してもらい、絵本をプレゼントする事業です。赤ちゃんの頃は読み聞かせというよりも、じっくりくっついて語りかける、という事が大切だと思います。赤ちゃんはお母さんやお父さんの語りかけに安心し、そのぬくもりを感じて幸福感に満たされます。赤ちゃんの反応は、絵をじっと見たり、指さしたりと、それぞれ楽しみ方が違うようです。たくさん言葉かけは脳や情緒の発達に良いと言われています。たくさん声を聞かせてください。

赤ちゃんにははっきりした色合いの絵本がおすすめです。少し大きくなってきたら、繰り返しのある絵本が良いと思います。幼児になってくると、自分の身の回りに興味をもつ時期なので、生活を描いた本がおすすめです。お風呂、食事、遊びなどいろんなことに興味を持てていきますね。読んでいて途中で飽きてしまったら、無理して最後まで読まなくても大丈夫です。世の中にはたくさん絵本があります。色んな絵本を読んで、お気に入りを見つけてください。思いつかなければ自分の好きな本を読むのが一番良いと思います。読んでくれる人が好きだという本は、読んでもらっても面白いものです。長く読まれてきたロングセラーの

本もおすすです。世代を超えて子どもたちに読まれているだけに、お話のすじがわかりやすく、テンポよく進みます。また、自分が子どもの頃に読んでいた本も良いですね。それこそ、図書館に行ってみてください。図書館には昔の本も、新しい本もあります。とてもおすすめです。

「読み聞かせはどうすれば良いですか？」と質問されることがあります。赤ちゃんの頃はオーバーに、一緒に気持ちを分かち合う感じで読んでOKですが、本のストーリーを読むようになったら、オーバーな表現やアドリブは避けましょう。子どもの想像力の妨げになり、興味が中断されてしまうこともあります。おはなし会とは違って、お家で読む場合はゆっくり味わって読みたいものです。

さて、読み聞かせをおすすめしてはいますが、毎日の生活は慌ただしく過ぎていき、そんな時間はない、という方もいると思います。ただ、子どもに読んで、と言われた時は、ちょっと無理をしても読んであげたいですね。子どもの人生のうちで読み聞かせできる時間は、わずかしかなかったりません。関西大学社会学部教授の保田時男氏によると、「母親が生涯わが子と一緒に過ごせる時間は約7年6ヶ月(約65,700時間)、父親は約3年4ヶ月(約29,200時間)」という事です。つまり、わが子と一緒に過ごせる時間の全体を100%とし、子どもの成長に沿って見ていくと「幼稚園入園時には18%が過ぎ、幼稚園卒園時には32%、小学校卒業時は55%」と経過し、小学校を卒業する時点で、子どもと一緒に過ごせる時間の半分以上も過ぎてしまいます。子どもが成長するにつれて家にいる時間が少なくなり、一緒に過ごせる時間も減ってくるのです。その中で一緒に本が読める時間は貴重なものだと感じますね。

読み聞かせの効果については東北大学加齢医学研究所の川島隆太氏が2018年に長井市で行った、読み聞かせが脳のどの部分に効くのか、という実験があります。8週間、就寝前を中心に毎日読み聞かせを続け、最初と最後に脳を測定しました。その時の結果によると、親は読み聞かせ中に「おもしろい脳」がよく反応し、子どもは「感情脳」が良く反応し喜怒哀楽という部分が発達するそうです。お互い読み聞かせで心を通わせている、という状態になっています。



他にも、親は読み聞かせをする前よりも育児ストレスが減少した、子どもの問題行動も軽減した、などの報告もあります。親にも子にもプラスになる結果となり、読み聞かせで親子の信頼関係が築けるのですから、ぜひ数分でも読み聞かせを続けてみてください。



# 図書館のおすすめ絵本



【4歳～5歳】



おもしろい本がいっぱい



図書室へいってみよう



【0歳～1歳】

『ぎゅ〜っ!』

いしづちひろ/作  
くわざわゆうこ/絵  
くもん出版

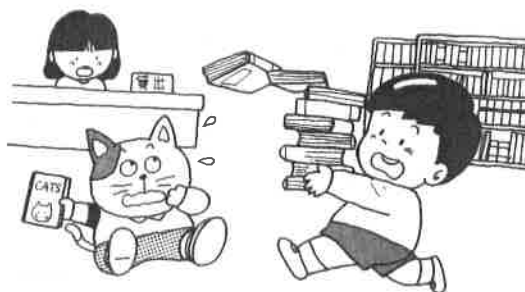


赤ちゃんが、犬の頭をなでなでしたり、毛布にすりすりしたり、くっつくのが大好き。みんなでぎゅ〜っしましょう!

『おなべさん』

きのしたけい/作 moko/絵  
コクヨ

おなべの中に、いろんな材料が入ります。何がで  
きるかな? しかけをめ  
くって、おいしいお料  
理、できたかな?



【2歳～3歳】

『ちちゃこいやつ』

ロブ・ハドソン/作 ダニエル・カール/訳  
マイクロマガジン社

オオカミは穴の中から、ちちゃこいやつを外に出したくて、呼びかけます。ついに出てきたものは…。文が山形弁で書かれている面白さもあります。



『とんでもない』

鈴木のりたけ/作・絵 アリス館

とんでもない  
鈴木のりたけ



他の動物がうらやましい、と言っていたら、みんな「とんでもない」と大変な事を教えてくれます。自分に無いものはほしいけど、良いことばかりじゃないんだね。

『ねこはるすばん』

町田尚子/作 ほるぷ出版



ねこは家で何をしているのでしょうか。寝てばかりいるのかと思いきや、実は、ねこの世界へお出かけしているのです。気楽に過ごして、また家族のところへ帰ってきます。

『パンしろくま』

柴田ケイコ/作・絵 PHP 研究所

大好きなパンの中に入ってみたら、どんな感じかなあ〜。カレーパン、メロンパン、ウィンナーパン、どれも美味しそうでお腹がすいてくる。



## 返信コーナー

【まざ〜れ利用者】

先日、初めて利用させていただきましたが、子どもにつけるネームを安全ピンを用いたものでなくシール等に変えたほうがいいと感じました。実際に、他の施設ではシールで対応しているところもあります。ピンは、動く子どもを考えると安全性に欠けるほか、服に穴があくことにも抵抗があります。

また、午後の利用時間も短く、保育園のお迎え待ちの人が利用しやすいようせめて16時頃まで延長できないのかと思いました。14時45分では、子どものお昼寝時間にかぶる人がほとんどで、利用者数も少ないのではないのでしょうか。

もう少し、利用者側に寄り添った考えが必要だと思いました。

「まざ〜れ」をご利用いただきまして、ありがとうございます。

ご意見いただきました2件につきましてお答えしたいと思います。

まず名札の安全ピンについてですが、まざ〜れで使用しています名札は「幼稚園用名札」というもので、市販されているそのままを利用しています。「安全性」や「服に穴があくこと」をご心配されていらっしゃるということでした。確かに、ご自分でクリップをつけて利用されている方もいらっしゃいます。ただ、シール式ですと取り外す際に、服の繊維をはがしたり、服によってはシールそのものがはがれてしまうことも考えられます。調べましたところ「ボタンタイプ」や「クリップタイプ」のものもあるようですので、前向きに検討させていただきますたいと思います。

次に、午後の利用時間についてですが、おっしゃる通り、午後の利用者が少なくなっているのは事実です。理由としては、保育園などの施設入所率が高くなっていること他に、「午前中いっぱい遊ばせて、午後はお昼寝をさせたいとおっしゃるお家の方が大半であること」そして、「コロナ感染の心配が増えたこと」などのようです。

現在、長井市には、まざ〜れを含め3カ所の子育て支援センターがございますが、午後利用の閉所時間は、ほぼ同じようです。まざ〜れも、本来はパンフレットに書いてあるように、午後は15時30分までの利用となっています。しかし現在は、コロナ感染予防対策として、例えそれで遊ばなくても、触った



おもちゃは1個1個消毒をして、午前・午後フロア全部を掃除し、さらに消毒して皆様をお迎えしております。そのため、現在は利用時間を短縮せざるを得なくなっているのが実情です。ご存じの通り、まざ〜れはフロアが広く、それなりの時間が必要となりますので、ご理解いただきたいと思います。

子育て支援センターまざ〜れ

料金受取人払郵便

473

差出有効期限  
令和5年5月  
31日まで

〒993-8790

長井市屋城町6番53号

長井市中央コミュニティセンター  
お茶の間交信返信 行

